



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131
 定時株主総会開催予定日 2019年6月21日 配当支払開始予定日 2019年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|------|--------|------|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 235,762 | 3.7 | 20,576 | 4.9 | 20,575 | 17.2 | 12,256 | 23.9 |
| 2018年3月期 | 227,361 | 2.1 | 19,615 | △3.7 | 17,553 | 2.0 | 9,892 | △4.7 |

（注）包括利益 2019年3月期 13,820百万円（31.5%） 2018年3月期 10,506百万円（220.7%）

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2019年3月期 | 198.71 | — | 6.5 | 6.6 | 8.7 |
| 2018年3月期 | 155.96 | — | 5.3 | 5.7 | 8.6 |

（参考）持分法投資損益 2019年3月期 △56百万円 2018年3月期 -百万円

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 318,228 | 193,257 | 59.5 | 3,133.54 |
| 2018年3月期 | 302,825 | 192,165 | 62.0 | 3,003.62 |

（参考）自己資本 2019年3月期 189,238百万円 2018年3月期 187,780百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2019年3月期 | 24,300 | △11,388 | △361 | 75,149 |
| 2018年3月期 | 14,585 | △8,609 | △23,574 | 62,375 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2018年3月期 | — | 31.00 | — | 51.00 | 82.00 | 5,186 | 52.6 | 2.8 |
| 2019年3月期 | — | 31.00 | — | 33.00 | 64.00 | 3,949 | 32.2 | 2.1 |
| 2020年3月期(予想) | — | 32.00 | — | 32.00 | 64.00 | | 39.5 | |

（注）2018年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 31円00銭 記念配当 20円00銭（創業100周年記念）

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 109,000 | △0.5 | 5,500 | △21.6 | 5,300 | △23.3 | 2,500 | △34.6 | 40.53 |
| 通期 | 230,000 | △2.4 | 17,000 | △17.4 | 16,500 | △19.8 | 10,000 | △18.4 | 162.13 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 2019年3月期 | 68,638,210株 | 2018年3月期 | 68,638,210株 |
| 2019年3月期 | 7,865,917株 | 2018年3月期 | 5,931,205株 |
| 2019年3月期 | 61,679,523株 | 2018年3月期 | 63,432,643株 |

(注) 期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります (2019年3月期 380,898株、2018年3月期 189,164株)。

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期 | 153,382 | 7.2 | 11,811 | 14.4 | 14,490 | 20.2 | 11,216 | 12.7 |
| 2018年3月期 | 143,145 | 1.8 | 10,327 | △4.3 | 12,053 | △6.6 | 9,957 | △3.0 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 181.86 | — |
| 2018年3月期 | 156.97 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年3月期 | 253,649 | 174,833 | 68.9 | 2,895.00 |
| 2018年3月期 | 240,182 | 175,358 | 73.0 | 2,804.93 |

(参考) 自己資本 2019年3月期 174,833百万円 2018年3月期 175,358百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (セグメント情報) | 13 |
| (1株当たり情報) | 14 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、個人消費の持ち直しや設備投資の増加がみられるなど、緩やかな回復基調が持続いたしました。一方、世界経済につきましては、米国では、米中通商問題等が懸念されるなか、景気回復の動きが持続し、欧州でも、英国のEU離脱問題等を背景とする先行き不透明感はあったものの、景気は緩やかな回復が続き、また、アジアでは、中国で若干の景気減速が見られたものの、全体としては堅調に推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の初年度として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」の3方針の下、積極的な事業展開を行ってまいりました。

海外市場では、市場の特性に応じた地域別戦略を推進し、各国で金融市場向け「紙幣入出金機」の更新需要の獲得や流通市場向け「紙幣硬貨入出金機」の販売拡大に注力いたしました。また、イタリアにおける販売・保守網の強化を目的に、現地企業の買収を実施いたしました。

国内市場では、金融市場において、主要製品である「オープン出納システム」や窓口用「紙幣硬貨入出金機」の更新需要の獲得に注力し、流通市場においては、コンビニエンスストア向けを始めとする「レジつり銭機」の販売拡大に取り組んでまいりました。

また、新事業においては、音声認識技術を有する株式会社フュートレックとの資本業務提携を実施するなど、新たなソリューションの創出に向けた取組みも推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、235,762百万円（前期比 3.7%増）となり、昨年に引き続き過去最高を更新いたしました。このうち、製品及び商品売上高は、167,565百万円（前期比 4.9%増）、保守売上高は、68,197百万円（前期比 0.8%増）でありました。利益につきましては、営業利益は、20,576百万円（前期比 4.9%増）、経常利益は、20,575百万円（前期比 17.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、12,256百万円（前期比 23.9%増）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

(金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」の販売は好調であり、窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売も更新需要を捉え好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、56,636百万円（前期比 4.9%増）、営業利益は、6,764百万円（前期比 67.3%増）となりました。

(流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」の販売はコンビニエンスストア向けを始め好調であり、警備輸送市場向け「売上金入金機」の販売も好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、51,985百万円（前期比 20.3%増）、営業利益は、4,611百万円（前期比 32.7%増）となりました。

(遊技市場)

主要製品である「カードシステム」等の販売は更新需要を捉え堅調であり、ホール向け「賞品保管機」の販売も好調でありました。一方、計数機等の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、20,511百万円（前期比 0.3%減）、営業利益は、1,959百万円（前期比 47.2%増）となりました。

(海外市場)

欧州では、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」の販売は好調であったものの、流通市場向け「紙幣硬貨入出金機<CIシリーズ>」の販売は低調でありました。米国では、金融市場向け「紙幣入出金機<RBGシリーズ>」の販売が低調であり、アジアでも、中国において同製品の販売が低調でありました。一方、OEM製品であるATM用「紙幣入金ユニット」の販売は堅調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、103,287百万円（前期比 3.3%減）、営業利益は、プロダクトミックスの悪化等により、8,761百万円（前期比 21.5%減）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、3,341百万円（前期比17.4%増）、営業損益は、1,521百万円の損失（前期は営業損失 403百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ15,402百万円増加し、318,228百万円となりました。主な要因は、商品及び製品3,113百万円の減少、及び、有価証券13,556百万円、受取手形及び売掛金3,380百万円の増加であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ14,310百万円増加し、124,971百万円となりました。主な要因は、長期借入金4,508百万円の減少、及び、社債20,000百万円の増加であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,092百万円増加し、193,257百万円となりました。主な要因は、利益剰余金6,838百万円、自己株式△5,861百万円の増加であります。

この結果、自己資本比率は59.5%（前連結会計年度末は62.0%）となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ12,774百万円増加し、75,149百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、24,300百万円のプラスとなりました（前連結会計年度は14,585百万円のプラス）。キャッシュ・フローの主な内訳は、資金の減少要因として、売上債権の増加2,317百万円、仕入債務の減少3,247百万円、法人税等の支払額5,357百万円、及び、資金の増加要因として、税金等調整前当期純利益20,562百万円、減価償却費8,945百万円、のれん償却額3,622百万円、たな卸資産の減少3,808百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、11,388百万円のマイナスとなりました（前連結会計年度は8,609百万円のマイナス）。キャッシュ・フローの主な内訳は、資金の減少要因として、有形固定資産の取得による支出5,424百万円、投資有価証券の取得による支出3,630百万円であります。有形固定資産の取得は、主に製品の製造に係る金型・治工具類等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、361百万円のマイナスとなりました（前連結会計年度は23,574百万円のマイナス）。キャッシュ・フローの主な内訳は、資金の減少要因として、長期借入金の返済による支出9,059百万円、配当金の支払額5,140百万円、自己株式の取得による支出6,575百万円、及び、資金の増加要因として、社債の発行による収入19,901百万円であります。

キャッシュ・フロー指標のトレンド

| | 2015年3月期 | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2018年3月期 | 2019年3月期 |
|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 | 58.1% | 60.6% | 60.1% | 62.0% | 59.5% |
| 時価ベースの自己資本比率 | 63.5% | 78.1% | 74.6% | 78.3% | 50.4% |
| 債務償還年数 | 3.0年 | 1.7年 | 1.6年 | 2.4年 | 2.0年 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ | 24.6 | 41.6 | 48.8 | 25.7 | 38.0 |

(注) 自己資本比率：(株主資本+評価換算差額) / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

債務償還年数：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国の経済につきましては、企業の設備投資や個人消費の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が持続すると予想されます。また、世界経済につきましても、米中通商問題や英国のEU離脱問題等により先行き不透明な状況ではあるものの、米国・欧州では緩やかな景気回復が続くものと予想されます。

このような状況のなか、次期(2020年3月期)につきましては、海外市場において増収増益を見込むものの、金融市場及び流通・交通市場では大口需要の反動による減少が予想されます。また、新事業の創出やさらなる事業領域の拡大に向け、戦略投資を継続実施してまいります。

これらにより、次期の通期連結業績は、売上高 230,000百万円(前期比 2.4%減)、営業利益 17,000百万円(前期比17.4%減)、経常利益 16,500百万円(前期比 19.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益 10,000百万円(前期比 18.4%減)となる見通しです。

なお、次期の業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1ドル110円、1ユーロ125円としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準間の収斂が進む現在の状況を踏まえ、当面は日本基準の使用を継続する方針です。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、今後の国内他社のIFRS適用動向や当社グループの国際的な事業展開等を踏まえた上で、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 61,154 | 60,328 |
| 受取手形及び売掛金 | 53,789 | 57,170 |
| 電子記録債権 | 486 | 917 |
| リース投資資産 | 2,276 | 1,838 |
| 有価証券 | 2,000 | 15,556 |
| 商品及び製品 | 31,719 | 28,606 |
| 仕掛品 | 8,044 | 8,233 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,599 | 11,687 |
| その他 | 4,248 | 4,380 |
| 貸倒引当金 | △570 | △574 |
| 流動資産合計 | 174,747 | 188,143 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 34,905 | 36,360 |
| 減価償却累計額 | △20,964 | △21,816 |
| 建物及び構築物(純額) | 13,941 | 14,544 |
| 機械装置及び運搬具 | 13,565 | 13,935 |
| 減価償却累計額 | △10,862 | △11,470 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,703 | 2,464 |
| 工具、器具及び備品 | 56,503 | 57,512 |
| 減価償却累計額 | △50,559 | △51,612 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 5,944 | 5,900 |
| 土地 | 11,420 | 11,717 |
| 建設仮勘定 | 499 | 202 |
| 有形固定資産合計 | 34,509 | 34,829 |
| 無形固定資産 | | |
| 顧客関係資産 | 19,683 | 19,108 |
| ソフトウェア | 4,598 | 5,336 |
| のれん | 45,113 | 44,245 |
| その他 | 1,378 | 1,101 |
| 無形固定資産合計 | 70,774 | 69,791 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,480 | 12,302 |
| 繰延税金資産 | 8,000 | 7,965 |
| 退職給付に係る資産 | 551 | 1,466 |
| その他 | 3,952 | 3,882 |
| 貸倒引当金 | △188 | △152 |
| 投資その他の資産合計 | 22,794 | 25,464 |
| 固定資産合計 | 128,078 | 130,084 |
| 資産合計 | 302,825 | 318,228 |

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当連結会計年度 (2019年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 11,587 | 11,014 |
| 電子記録債務 | 8,519 | 7,461 |
| 短期借入金 | 21,745 | 23,369 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 9,006 | 4,476 |
| 未払法人税等 | 2,143 | 3,006 |
| 賞与引当金 | 7,732 | 7,852 |
| 役員賞与引当金 | 105 | 113 |
| 株式付与引当金 | 71 | 86 |
| その他 | 30,710 | 33,087 |
| 流動負債合計 | 91,620 | 90,467 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 20,000 |
| 長期借入金 | 4,508 | — |
| リース債務 | 1,276 | 1,085 |
| 繰延税金負債 | 6,251 | 6,075 |
| 退職給付に係る負債 | 2,620 | 3,031 |
| 株式付与引当金 | 191 | 240 |
| その他 | 4,191 | 4,070 |
| 固定負債合計 | 19,039 | 34,503 |
| 負債合計 | 110,660 | 124,971 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,892 | 12,892 |
| 資本剰余金 | 20,991 | 20,938 |
| 利益剰余金 | 165,380 | 172,219 |
| 自己株式 | △18,022 | △23,884 |
| 株主資本合計 | 181,241 | 182,166 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 916 | 219 |
| 為替換算調整勘定 | 5,793 | 7,673 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △170 | △820 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,538 | 7,072 |
| 非支配株主持分 | 4,385 | 4,018 |
| 純資産合計 | 192,165 | 193,257 |
| 負債純資産合計 | 302,825 | 318,228 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 227,361 | 235,762 |
| 売上原価 | 140,174 | 147,274 |
| 売上総利益 | 87,186 | 88,488 |
| 販売費及び一般管理費 | 67,570 | 67,912 |
| 営業利益 | 19,615 | 20,576 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 215 | 179 |
| 受取配当金 | 130 | 143 |
| 補助金収入 | 113 | 127 |
| 受取和解金 | — | 280 |
| その他 | 327 | 321 |
| 営業外収益合計 | 786 | 1,052 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 553 | 601 |
| 為替差損 | 2,124 | 17 |
| 持分法による投資損失 | — | 56 |
| その他 | 171 | 377 |
| 営業外費用合計 | 2,848 | 1,053 |
| 経常利益 | 17,553 | 20,575 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 151 | 5 |
| 投資有価証券売却益 | 8 | 61 |
| 特別利益合計 | 159 | 66 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 51 | 0 |
| 固定資産除却損 | 120 | 56 |
| 投資有価証券評価損 | — | 23 |
| その他 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 174 | 80 |
| 税金等調整前当期純利益 | 17,538 | 20,562 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,358 | 6,854 |
| 法人税等調整額 | △91 | 152 |
| 法人税等合計 | 6,267 | 7,007 |
| 当期純利益 | 11,271 | 13,554 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 1,378 | 1,298 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 9,892 | 12,256 |

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益 | 11,271 | 13,554 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 93 | △692 |
| 為替換算調整勘定 | △2,041 | 1,603 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,182 | △650 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | — | 5 |
| その他の包括利益合計 | △765 | 265 |
| 包括利益 | 10,506 | 13,820 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 8,804 | 12,833 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 1,701 | 987 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|--------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 12,892 | 20,974 | 158,504 | △12,090 | 180,281 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 12,892 | 20,974 | 158,504 | △12,090 | 180,281 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △3,912 | | △3,912 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 9,892 | | 9,892 |
| 自己株式の取得 | | | | △6,000 | △6,000 |
| 自己株式の処分 | | | | 68 | 68 |
| 連結範囲の変動 | | 16 | 896 | | 912 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 16 | 6,876 | △5,932 | 959 |
| 当期末残高 | 12,892 | 20,991 | 165,380 | △18,022 | 181,241 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 822 | 8,181 | △1,336 | 7,667 | 3,494 | 191,443 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | — | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 822 | 8,181 | △1,336 | 7,667 | 3,494 | 191,443 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | — | △820 | △4,733 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | — | | 9,892 |
| 自己株式の取得 | | | | — | | △6,000 |
| 自己株式の処分 | | | | — | | 68 |
| 連結範囲の変動 | | △24 | | △24 | 10 | 898 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 93 | △2,364 | 1,165 | △1,104 | 1,701 | 596 |
| 当期変動額合計 | 93 | △2,388 | 1,165 | △1,129 | 890 | 721 |
| 当期末残高 | 916 | 5,793 | △170 | 6,538 | 4,385 | 192,165 |

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|--------|--------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 12,892 | 20,991 | 165,380 | △18,022 | 181,241 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | △345 | | △345 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 12,892 | 20,991 | 165,034 | △18,022 | 180,896 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △5,141 | | △5,141 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 12,256 | | 12,256 |
| 自己株式の取得 | | | | △6,575 | △6,575 |
| 自己株式の処分 | | △52 | | 714 | 661 |
| 連結範囲の変動 | | | 69 | | 69 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △52 | 7,184 | △5,861 | 1,270 |
| 当期末残高 | 12,892 | 20,938 | 172,219 | △23,884 | 182,166 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|------------------|-------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 916 | 5,793 | △170 | 6,538 | 4,385 | 192,165 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | — | △138 | △483 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 916 | 5,793 | △170 | 6,538 | 4,246 | 191,681 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | — | △1,227 | △6,369 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | — | | 12,256 |
| 自己株式の取得 | | | | — | | △6,575 |
| 自己株式の処分 | | | | — | | 661 |
| 連結範囲の変動 | | △33 | | △33 | 12 | 48 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △696 | 1,914 | △650 | 567 | 987 | 1,554 |
| 当期変動額合計 | △696 | 1,880 | △650 | 533 | △227 | 1,575 |
| 当期末残高 | 219 | 7,673 | △820 | 7,072 | 4,018 | 193,257 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 17,538 | 20,562 |
| 減価償却費 | 9,450 | 8,945 |
| のれん償却額 | 3,922 | 3,622 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 59 | △60 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △1,052 | △555 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △722 | 30 |
| 株式付与引当金の増減額 (△は減少) | 75 | 63 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △7 | △61 |
| 受取利息及び受取配当金 | △345 | △323 |
| 支払利息 | 553 | 601 |
| 固定資産除却損 | 120 | 56 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △6,643 | △2,317 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △5,825 | 3,808 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,172 | △3,247 |
| リース債務の増減額 (△は減少) | △745 | △297 |
| リース投資資産の増減額 (△は増加) | 547 | 437 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △617 | 683 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 245 | 657 |
| その他 | 2,412 | △2,631 |
| 小計 | 21,138 | 29,974 |
| 利息及び配当金の受取額 | 346 | 323 |
| 利息の支払額 | △567 | △639 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △6,330 | △5,357 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 14,585 | 24,300 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △525 | △73 |
| 定期預金の払戻による収入 | 35 | 678 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,504 | △5,424 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 723 | 6 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △2,312 | △2,147 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,008 | △3,630 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 66 | 255 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △999 |
| その他 | △83 | △53 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △8,609 | △11,388 |

(単位: 百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △3,835 | 1,165 |
| 長期借入金の返済による支出 | △9,005 | △9,059 |
| 社債の発行による収入 | — | 19,901 |
| 配当金の支払額 | △3,912 | △5,140 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △820 | △1,227 |
| 自己株式の取得による支出 | △6,000 | △6,575 |
| 自己株式の処分による収入 | — | 575 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △23,574 | △361 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △234 | 146 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △17,832 | 12,697 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 77,050 | 62,375 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 3,156 | 77 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 62,375 | 75,149 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

在外連結子会社において、当連結会計年度よりIFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。当該会計基準の適用が連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスについて、各市場毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループのセグメントは、市場別に構成されており、「金融市場」、「流通・交通市場」、「遊技市場」、「海外市場」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメントの概要は、以下のとおりです。

「金融市場」……………国内の金融機関、OEM先等への販売・保守

「流通・交通市場」……………国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社、たばこメーカー、病院、自治体、企業等への販売・保守

「遊技市場」……………国内の遊技場(パチンコホール等)への販売・保守

「海外市場」……………海外の金融機関、警備輸送会社、小売店、カジノ、OEM先等への販売・保守

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2017年4月1日 至2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 | 連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------------|---------|-------------|--------|---------|---------|-------------|---------|--------|-------------------|
| | 金融市場 | 流通・交通 市場 | 遊技市場 | 海外市場 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 53,970 | 43,216 | 20,570 | 106,758 | 224,515 | 2,845 | 227,361 | — | 227,361 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 53,970 | 43,216 | 20,570 | 106,758 | 224,515 | 2,845 | 227,361 | — | 227,361 |
| セグメント利益 (注)2 | 4,043 | 3,476 | 1,331 | 11,167 | 20,018 | △403 | 19,615 | — | 19,615 |
| セグメント資産 (注)3 | 43,057 | 35,465 | 19,310 | 142,179 | 240,012 | 1,785 | 241,798 | 61,154 | 302,953 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 (注)4 | 2,062 | 1,728 | 1,163 | 4,355 | 9,309 | 140 | 9,450 | — | 9,450 |
| のれんの償却額 | — | — | — | 3,922 | 3,922 | — | 3,922 | — | 3,922 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注)5 | 2,010 | 1,739 | 831 | 4,097 | 8,678 | 142 | 8,820 | — | 8,820 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. 営業費用につきましては、全てセグメントに直課または配賦しております。

3. セグメント資産の調整額61,154百万円は、余資運用資金(現金及び預金)であります。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれております。

当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 | 連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------------|---------|-------------|--------|---------|---------|-------------|---------|--------|-------------------|
| | 金融市場 | 流通・交通 市場 | 遊技市場 | 海外市場 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 56,636 | 51,985 | 20,511 | 103,287 | 232,421 | 3,341 | 235,762 | — | 235,762 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 56,636 | 51,985 | 20,511 | 103,287 | 232,421 | 3,341 | 235,762 | — | 235,762 |
| セグメント利益 (注)2 | 6,764 | 4,611 | 1,959 | 8,761 | 22,097 | △1,521 | 20,576 | — | 20,576 |
| セグメント資産 (注)3 | 48,768 | 46,424 | 21,185 | 138,293 | 254,672 | 3,227 | 257,900 | 60,328 | 318,228 |
| その他の項目 | | | | | | | | | |
| 減価償却費 (注)4 | 1,977 | 1,524 | 955 | 4,306 | 8,763 | 181 | 8,945 | — | 8,945 |
| のれんの償却額 | — | — | — | 3,622 | 3,622 | — | 3,622 | — | 3,622 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注)5 | 2,270 | 1,817 | 737 | 3,320 | 8,145 | 178 | 8,324 | — | 8,324 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに属さない製品及び商品であります。
 2. 営業費用につきましては、全てセグメントに直課または配賦しております。
 3. セグメント資産の調整額60,328百万円は、余資運用資金(現金及び預金)であります。
 4. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。
 5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 3,003.62円 | 3,133.54円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 155.96円 | 198.71円 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 純資産の部において、自己株式として計上されている「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」に残存する当社株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度189,164株、当連結会計年度380,898株)。
 また、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度192,579株、当連結会計年度240,898株)。
 3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円) | 9,892 | 12,256 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 金額(百万円) | 9,892 | 12,256 |
| 期中平均株式数(株) | 63,432,643 | 61,679,523 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。